

今後の県立高校のあり方について

～社会環境の変化等を踏まえた県立高校に期待される機能と役割とは～

県立高校改革担当局長 田村 暢

今後の県立高校のあり方について

- これまでの県立高校改革の取組
- 県立高校を取り巻く状況の変化
- 今後の高校改革に向けて

これまでの県立高校改革の取組

本県における高校改革の取組

高校百校新設計画（S48～H1）

- 100校の県立高校を新設

県立高校改革推進計画（H12～21）

- 総合学科等、新たなタイプの高校等の設置と再編・統合（25組）

県立高校改革実施計画（H28～R9）

- 質の高い教育・学校経営力の向上・再編・統合等（18組）の取組

県立高校改革実施計画のコンセプト・構成



神奈川県
教育委員会

神奈川県教育委員会

県立高校改革 実施計画（全体）

平成28年1月 策定
令和4年10月一部改定

改革の コンセプト

生徒の学びと成長にとって
何が必要かという視点を最優先

改革の柱 1：質の高い教育の充実

改革の柱 2：学校経営力の向上

改革の柱 3：再編・統合等の取組

実施計画（改革の柱1）

改革の柱1：質の高い教育の充実

自立する力・社会を生き抜く力の育成

【指定校等の取組】 質の高い教育の充実に向けた研究と実践を行う学校を指定し、取組を進めています！

1 教育課程研究開発校 「シチズンシップ教育に係る研究」	2 教育課程研究開発校 「学習評価に係る研究」	3 教育課程研究開発校 「『総合的な探求の時間』に係る研究」
4 授業力向上推進重点校	5 ICT利活用授業研究推進校	6 プログラミング教育研究推進校
7 確かな学力育成推進校	8 学力向上進学重点校	9 STEAM教育研究推進校
10 理数教育推進校	11 グローバル教育研究推進校	12 国際バカロレア認定推進校
13 インクルーシブ教育実践推進校	14 通級指導導入校	

実施計画（改革の柱1）

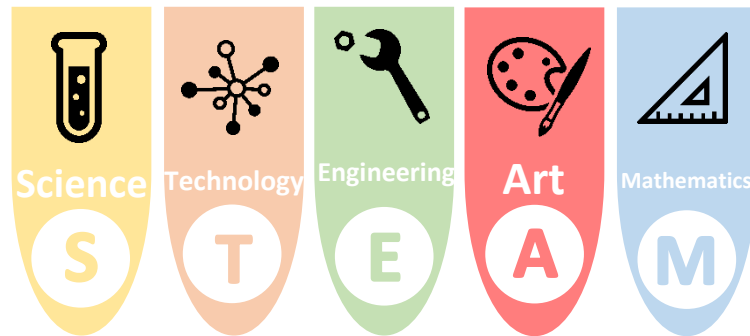
指定校等の例

4 授業力向上推進重点校



県立高校における生徒一人ひとりの学力の定着と向上を図るため、組織的な授業改善に関する先進的な取組について研究する。

9 S T E A M教育研究推進校



各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための、教科等横断的な教育課程や指導方法、学習プログラム等の研究開発に取り組む。

13 インクルーシブ教育実践推進校



県教育委員会が指定した学校において、障がいのある生徒に高校教育を受ける機会を拡大するため、入学者選抜や教育課程、進路支援等の研究開発を実施

県立高校全体の教育力の向上に寄与

実施計画（改革の柱2）

改革の柱2：学校経営力の向上

学校の教育目標の達成・地域の核となる学校づくり

スクール・ポリシーに基づく教育活動の推進

- 全ての県立高校でスクールポリシーを策定・公表



学校経営・学校運営に資する外部人材の活用

- 業務アシスタントなど、学校運営をサポートする人材の活用



神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入

- 全ての県立高校でコミュニティ・スクールを導入



実施計画（改革の柱2）

改革の柱2：学校経営力の向上

県立高校の教育環境整備

H28～R9

「新まなびや計画」

学校施設を対象として、早急な対応を求められている
耐震対策、老朽化対策、トイレの環境改善を実施

学校施設の耐震化



全校舎棟の完了
(約200棟)

教室等の空調整備



全校整備の完了
(約550室)

トイレの環境整備



すべての校舎棟の洋式化等
整備完了
(約400棟)

実施計画（改革の柱3）

改革の柱3：再編・統合等の取組

課程・学科等の改編

普通科専門コースから 専門学科への改編

- 普通科専門コースを解消し、専門学科への改編等を実施



新学科 舞台芸術科の設置

- R3 神奈川総合高校に設置



学科改編等 定時制課程の再編成

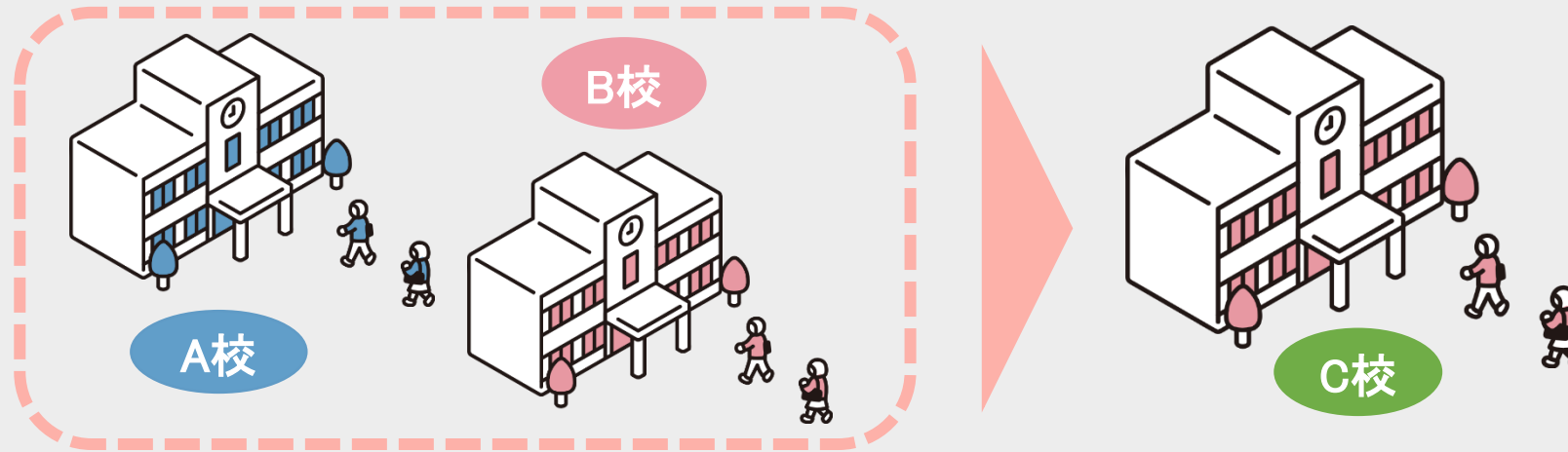
- 生徒のニーズに応じた学習内容や学習環境を提供



実施計画（改革の柱3）

改革の柱3：再編・統合等の取組

県立高校の再編・統合



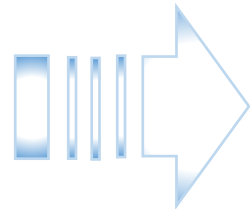
2つの高校が1つになり、新しい高校としてスタート！

平成7年度（県立高校の最大時）

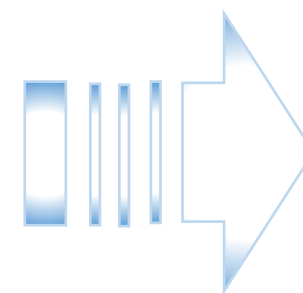
平成27年度（県立高校改革実施計画策定時）

令和13年度

166校



142校

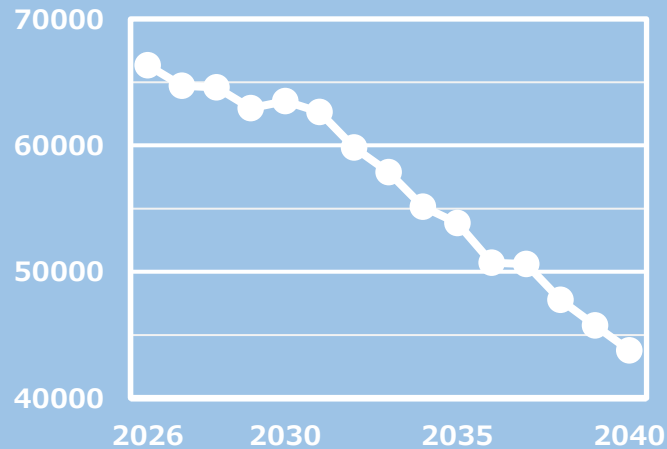


125校

県立高校を取り巻く状況の変化

県立高校を取り巻く状況の変化①

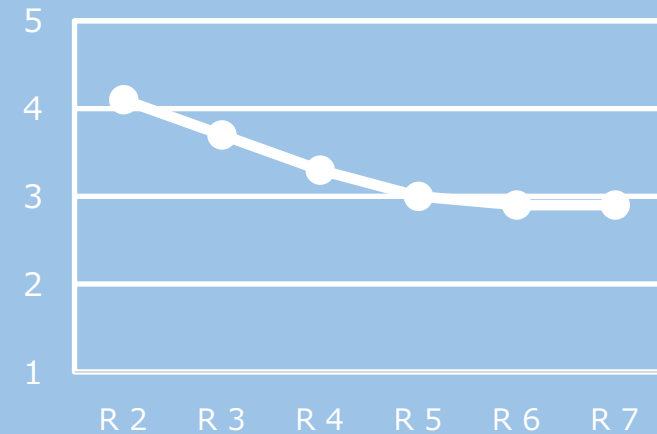
中学校卒業者の減少



2040年までに**約22,000人減**



教員のなり手不足



採用試験の倍率は**低下傾向**



県立高校を取り巻く状況の変化②

令和8年度からの高校授業料無償化により、
県立・私立の授業料の差がなくなる



令和8年度入学者選抜

県立高校志願者が
約2,200人減少 ↘

県内私立高校の推薦入学者が
約1,300人増加 ↗
(私立高校第1希望者の増加)

県立高校を取り巻く状況の変化③

校舎の70%以上が築40年超え

ひび割れだらけの外壁



天井からの雨漏り



体育館壁面の穴



今後、40年間に、ほとんどの学校が目標耐用年数築80年を迎える

今後の高校改革に向けて

国の高校教育改革に向けた動向

2040年には少子高齢化、
生産年齢人口減少等が一層深刻化

■ 事務職は余剰・・・
■ 理系人材が不足・・・

高校改革が必要！

高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)

令和8年2月公表

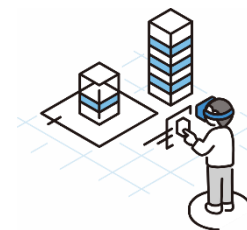
高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)
～2040年に向けた「N-E. X. T. (ネクスト)ハイスクール構想」～

令和8年2月13日
文 部 科 学 省

2040年の未来を担うみなさんへ

2040年、世界は、
今からは想像もできないものになっているでしょう。
どのような世界であっても、社会の一員として持てる力を発揮し、
2040年を動かしていく－その主役がみなさんです。
心惹かれることに打ち込み、夢や希望を持って様々なことに挑戦し、
自分自身の理想を追い求め、多くの仲間と協力し、
日本や世界の未来をつくっていくことを願っています。
社会へはばたくみなさんの背中を力強く押せるよう、
今こそ、高校を進化させていきます。

新しい学校のイメージ



専門高校の機能強化・高度化



普通科改革による高校の
特色化・魅力化



多様な学習ニーズに対応した
教育機会の確保



都道府県に対して基本方針を踏まえた実行計画の策定を要請

今後の県の動き（学びの魅力化）

国の方針に沿った取組を推進



国の基本方針を推進する
先導拠点校を申請

9月11日に再申請

先導拠点校の取組



専門高校（工業高校・農業高校等）
の**機能強化・高度化**

理数系人材の育成**強化・充実**

誰一人取り残さない多様な学び
を引き続き推進

生成AIによる改革に向けた取組のイメージ



専門高校の施設・設備を更新



遠隔授業の実施



理科実験室の充実

今年度中に実行計画を策定し、拠点校の取組を全県立高校に普及

今後の県の動き（施設の改善）

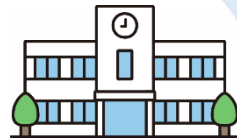
また、老朽化が進む校舎への対応



新まなびや計画に続く
新たな学校施設再整備計画

来年度中策定予定

魅力的で選ばれる学校への再生



老朽化した学校の建替え

多様な学びを支える施設の整備

地域のニーズを反映

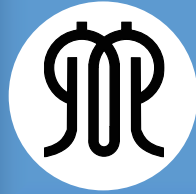
生成AIによる「新しい時代の教育に対応した学校施設」イメージ



施設・設備を充実させ、魅力ある学習環境を提供

今後の県の動き（現行計画の検証等）

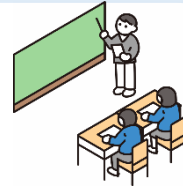
国の基本方針を踏まえた実行計画と並行して実施



県立高校改革実施計画

平成28年度～令和9年度

現行計画の取組の検証等



令和9年度まで着実に遂行

成果と課題の把握・検証

計画期外の再編・統合の実施



神奈川県教育委員会 県立高校改革 実施計画（全体）

平成28年1月 策定
令和4年10月一部改定



神奈川県教育委員会 県立高校改革 実施計画（Ⅲ期）

令和4年10月

現行計画の検証結果等を踏まえ、今後の県立高校のあり方を検討

ご静聴ありがとうございました。